

旭市の広報・情報発信に関するアンケート結果

●アンケートの目的

インターネットやスマートフォンの普及によるデジタル化の進展や、SDGsへの取り組み推進などの社会背景を踏まえ、広報紙を含めた市の情報発信の在り方を検討するため、アンケート調査を実施した。

●調査対象・方法・期間

調査対象／ 市民 2,000人（18～79歳で性別、年代、地区を均等に無作為抽出）
調査方法／ 対象者に郵送で配布、郵送またはWEB上の回答フォームで回収
調査期間／ 令和6年11月28日～12月27日

●設問について

- 問1 回答者の性別、年代、住んでいる地域
- 問2 情報を得るために、よく利用しているメディア
- 問3 普段よく利用しているSNSなどのサービス
- 問4 旭市の情報を主にどのように入手しているか
- 問5 「広報あさひ」をどの程度読んでいるか
- 問6 「広報あさひ」をどの媒体で読んでいるか
- 問7 「広報あさひ」をどのような方法で入手しているか
- 問8 「広報あさひ」を読まない主な理由
- 問9 旭市が発信する情報がどの程度伝わっているか
- 問10 旭市の情報で関心のあるものや、充実させた方が良いと思う情報
- 問11 自由意見

●回答数・回収率

回答数／ 861人
回収率／ 43.05%

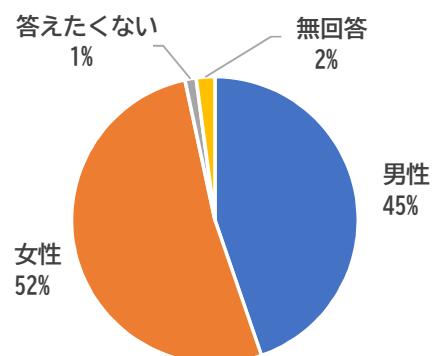
●集計・その他

- ・回答の集計については、全体及び年代別で行った。
- ・「その他」を選択した場合の具体的内容や自由意見については、主なものを抜粋して記載した。

問1 あなた自身のことについて、各項目にお答えください。（○は各項目1つ）

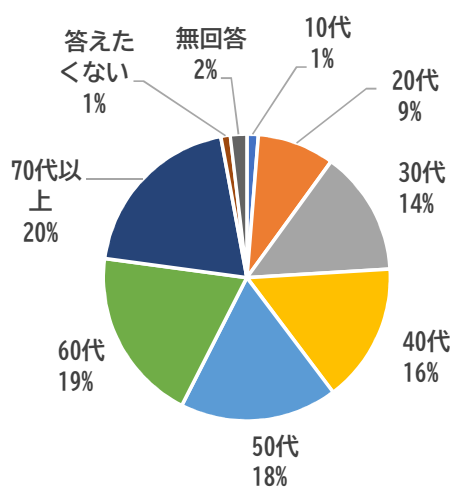
【性別】

選択肢	回答数	割合
男性	385	44.7%
女性	447	51.9%
答えたくない	11	1.3%
無回答	18	2.1%
計	861	100.0%



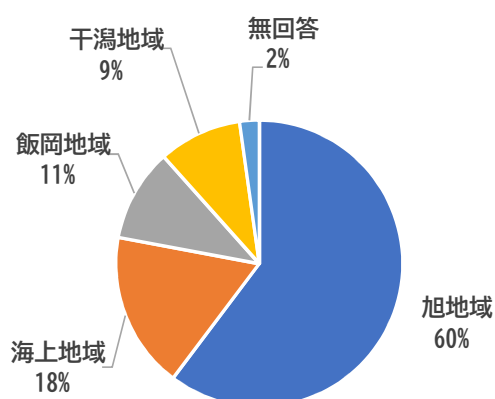
【年代】

選択肢	回答数	割合
10代	11	1.3%
20代	75	8.7%
30代	121	14.1%
40代	135	15.7%
50代	153	17.8%
60代	169	19.5%
70代以上	172	20.0%
答えたくない	9	1.0%
無回答	16	1.9%
計	861	100.0%



【居住地域】

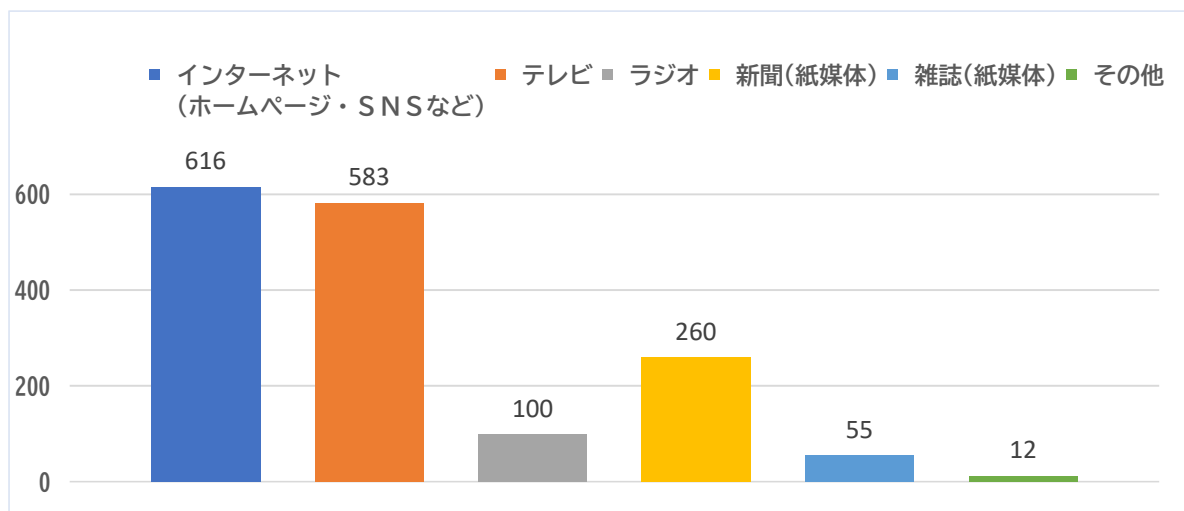
選択肢	回答数	割合
旭地域	519	60.3%
海上地域	152	17.6%
飯岡地域	90	10.5%
干潟地域	81	9.4%
無回答	19	2.2%
計	861	100.0%



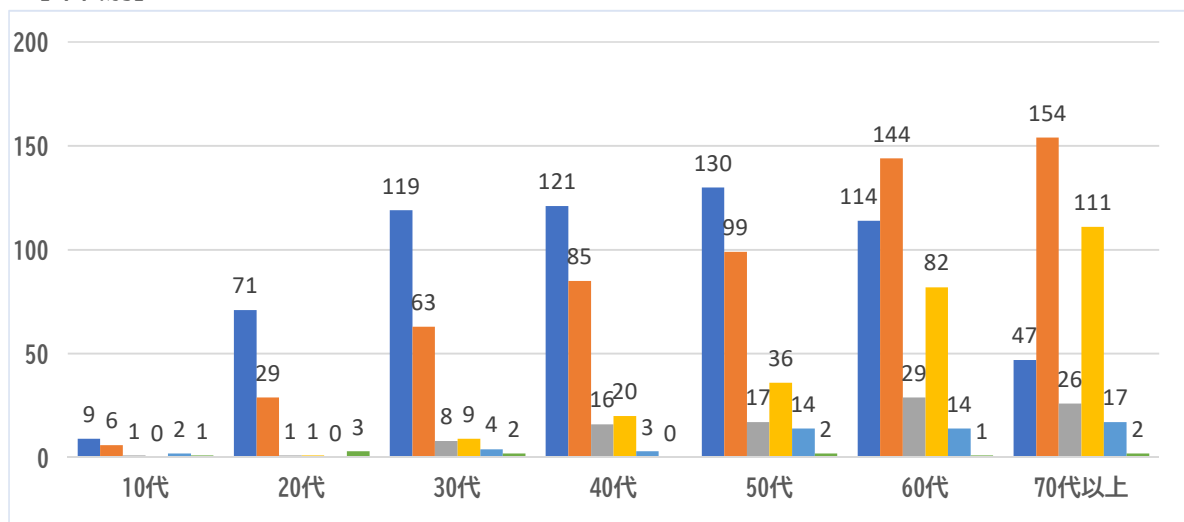
問2 情報を得るために、よく利用しているメディアはどれですか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
インターネット (ホームページ・SNSなど)	616	71.5%	9	71	119	121	130	114	47	5
テレビ	583	67.7%	6	29	63	85	99	144	154	3
ラジオ	100	11.6%	1	1	8	16	17	29	26	2
新聞(紙媒体)	260	30.2%	0	1	9	20	36	82	111	1
雑誌(紙媒体)	55	6.4%	2	0	4	3	14	14	17	1
その他	12	1.4%	1	3	2	0	2	1	2	1

【全体】



【年代別】



【その他の主な回答】

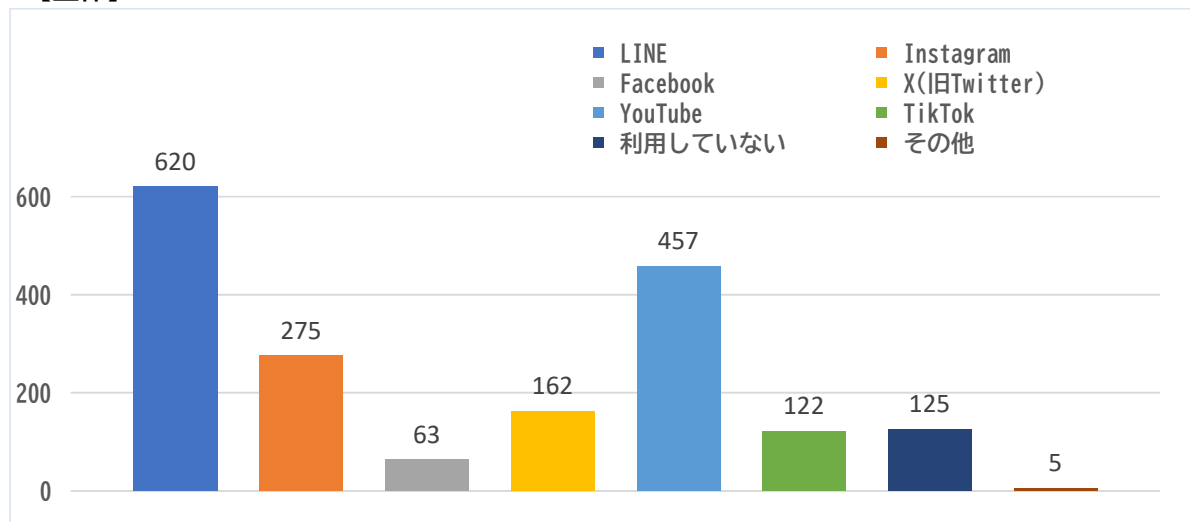
職場での会話、市の広報、ヤフーニュース など

ホームページやSNSなど、インターネットを利用した情報取得が71.5%と最も多くなっている。70代以上での利用は少ないものの、その他の年代ではいずれも上位であり、日常生活に欠かせない情報インフラとなっている。次いで「テレビ」「新聞(紙媒体)」と続くが、これらのメディアは若い年代ほど利用が少なくなる傾向にある。

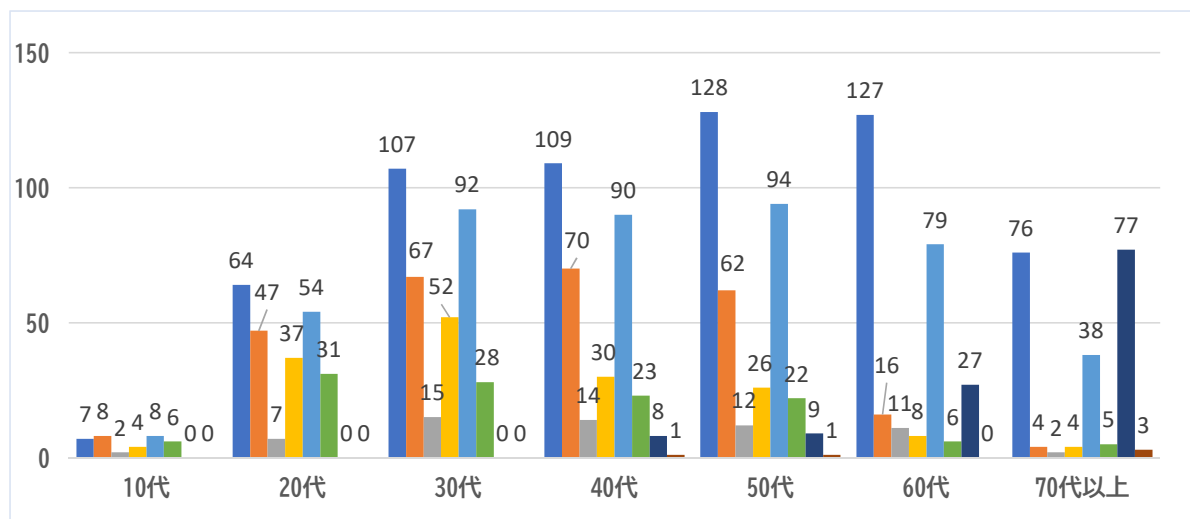
問3 普段よく利用しているSNSなどのサービスはどれですか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
LINE	620	72.0%	7	64	107	109	128	127	76	2
Instagram	275	31.9%	8	47	67	70	62	16	4	1
Facebook	63	7.3%	2	7	15	14	12	11	2	0
X(旧Twitter)	162	18.8%	4	37	52	30	26	8	4	1
YouTube	457	53.1%	8	54	92	90	94	79	38	2
TikTok	122	14.2%	6	31	28	23	22	6	5	1
利用していない	125	14.5%	0	0	0	8	9	27	77	4
その他	5	0.6%	0	0	0	1	1	0	3	0

【全体】



【年代別】



【その他の主な回答】

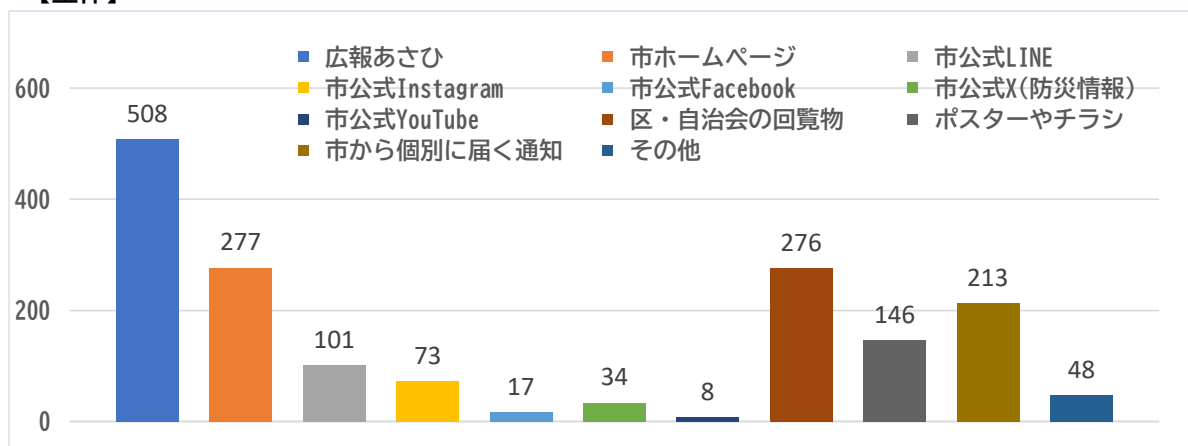
signal、TikTok Lite、携帯を持っていない など

SNSなどの利用については「LINE」が72.0%、「YouTube」が53.1%と回答者の半数以上が利用しており、次いで「Instagram」が31.9%となっている。70代以上では利用が少ないものの、スマートフォンなどの普及により、幅広い年代で日常的にSNSが利用されていることが伺える。

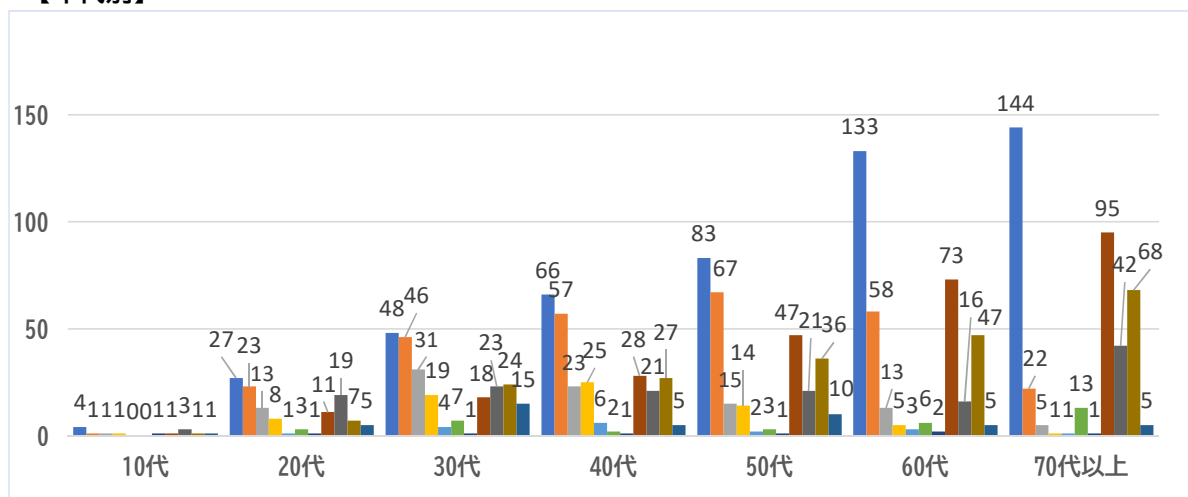
問4 旭市の情報を主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
広報あさひ	508	59.0%	4	27	48	66	83	133	144	3
市ホームページ	277	32.2%	1	23	46	57	67	58	22	3
市公式LINE	101	11.7%	1	13	31	23	15	13	5	0
市公式Instagram	73	8.5%	1	8	19	25	14	5	1	0
市公式Facebook	17	2.0%	0	1	4	6	2	3	1	0
市公式X(防災情報)	34	3.9%	0	3	7	2	3	6	13	0
市公式YouTube	8	0.9%	1	1	1	1	1	2	1	0
区・自治会の回覧物	276	32.1%	1	11	18	28	47	73	95	3
ポスターやチラシ	146	17.0%	3	19	23	21	21	16	42	1
市から個別に届く通知	213	24.7%	1	7	24	27	36	47	68	3
その他	48	5.6%	1	5	15	5	10	5	5	2

【全体】



【年代別】



【その他の主な回答】

家族・知り合い・職場の同僚などから聞く、くらしの便利帳 など

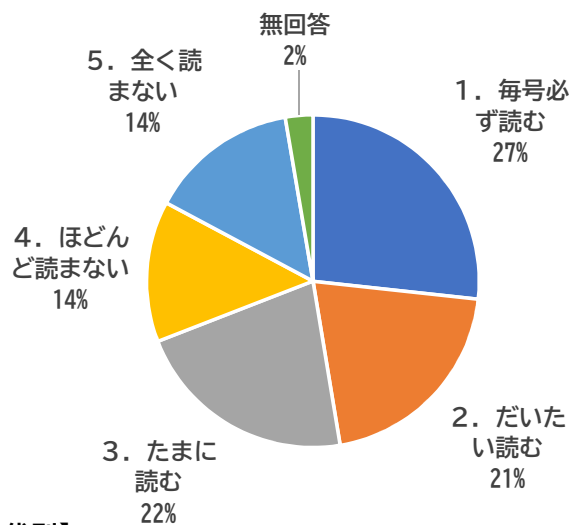
旭市の情報を取得する方法としては「広報あさひ」が59.0%と最も多く、次いで「市ホームページ」「区・自治会の回覧物」となっている。広報などの紙が中心の媒体は、60代以上で高い割合を占めているが、若い年代では、ホームページなどのデジタル媒体の割合が高まる傾向にある。また「区・自治会の回覧物」も若い年代では割合が低くなっている。

問5 「広報あさひ（紙またはデジタル媒体）」を読んでいますか。（○は1つ）

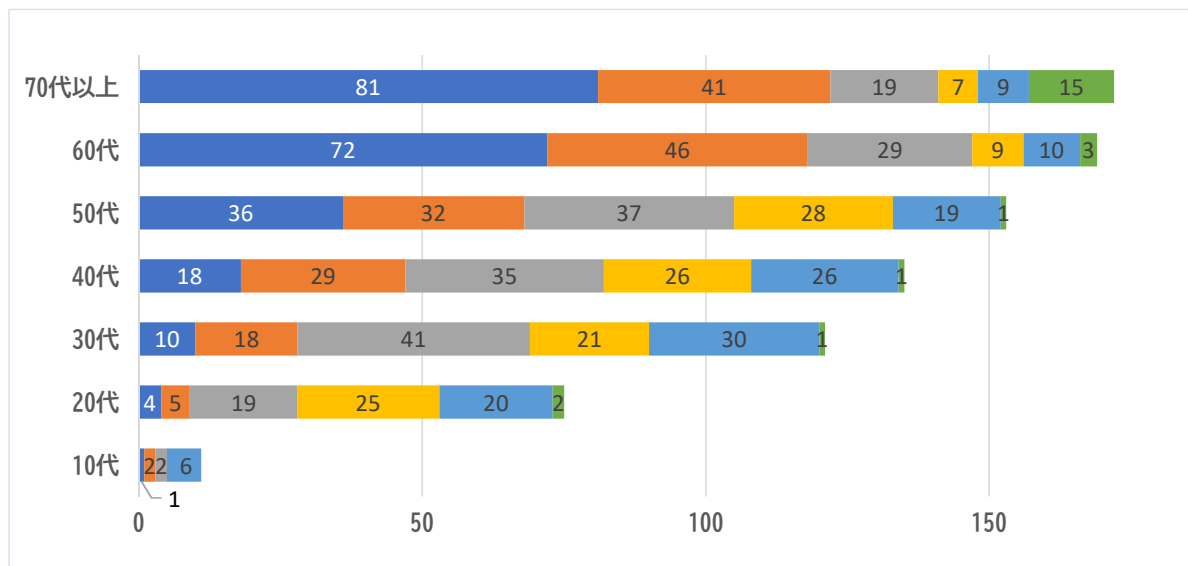
選択肢	回答数	割合
1. 毎号必ず読む	230	26.7%
2. だいたい読む	178	20.7%
3. たまに読む	187	21.7%
4. ほとんど読まない	118	13.7%
5. 全く読まない	125	14.5%
無回答	23	2.7%
計	861	100.0%

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
1	4	10	18	36	72	81	8
2	5	18	29	32	46	41	5
2	19	41	35	37	29	19	5
0	25	21	26	28	9	7	2
6	20	30	26	19	10	9	5
0	2	1	1	1	3	15	0

【全体】



【年代別】



「広報あさひ」を「毎号読む」「だいたい読む」を合わせると全体の47.4%となり「たまに読む」まで含めると69.1%に上る。年代別で見ると60代以上では購読率が高くなっているが、50代以下の年代では「ほとんど読まない」「全く読まない」が30%を超えており、広報のみでは情報を広く届けるのが難しくなっているという状況が伺える。

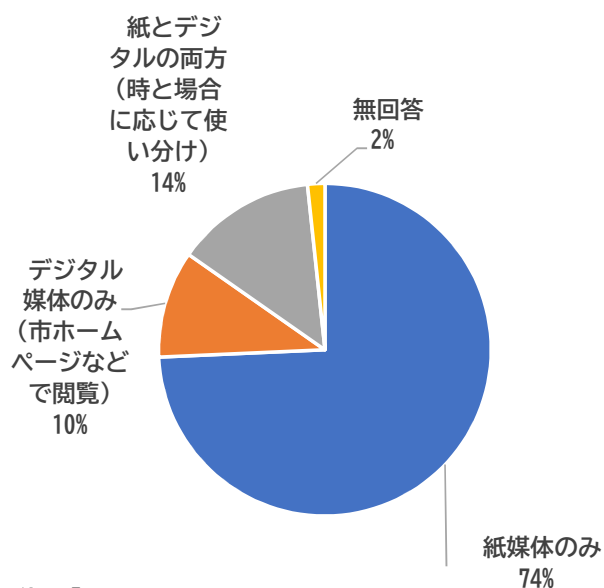
問6 問5で1、2、3を選んだ方にお伺いします。

「広報あさひ」をどの媒体で読んでいますか。(○は1つ)

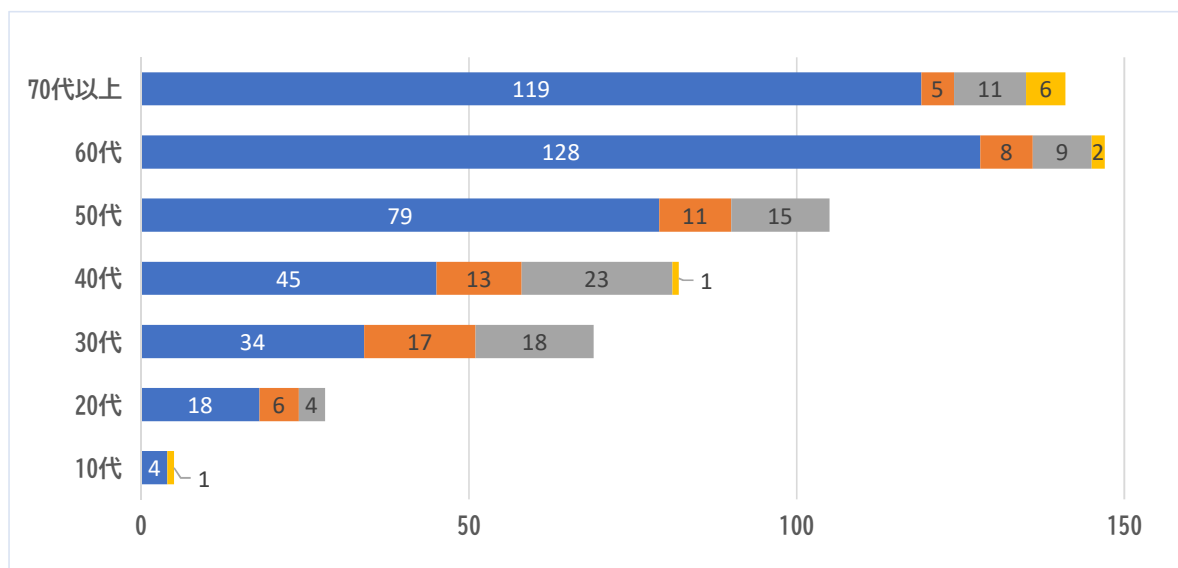
選択肢	回答数	割合
紙媒体のみ	442	74.3%
デジタル媒体のみ (市ホームページなどで閲覧)	62	10.4%
紙とデジタルの両方 (時と場合に応じて使い分け)	81	13.6%
無回答	10	1.7%
計	595	100.0%

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
4	18	34	45	79	128	119	15
0	6	17	13	11	8	5	2
0	4	18	23	15	9	11	1
1	0	0	1	0	2	6	0

【全体】



【年代別】



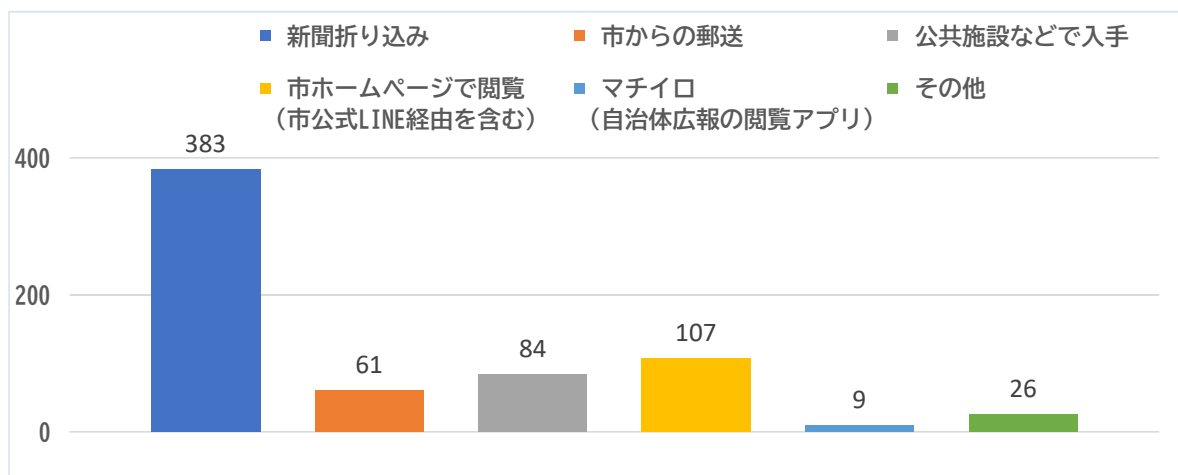
「広報あさひ」は紙とデジタルの両方で閲覧できるが、74.3%は「紙媒体のみ」で読んでおり、特に高齢層を中心に多くの方が紙媒体で読んでいる。一方、デジタル媒体を活用していると回答した人は、紙媒体と両方を使っている人まで含めると24.0%と紙媒体を大きく下回るが、年代別で見ると、30代・40代で40%以上と割合が高くなっている。

問7 問5で1、2、3を選んだ方にお伺いします。

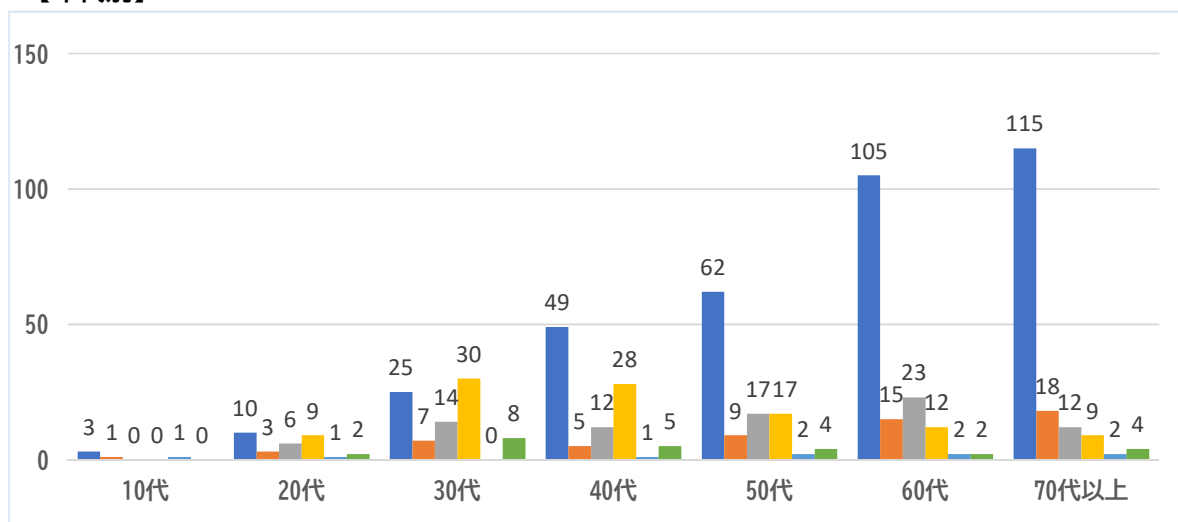
「広報あさひ」をどのような方法で入手していますか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
新聞折り込み	383	64.4%	3	10	25	49	62	105	115	14
市からの郵送	61	10.3%	1	3	7	5	9	15	18	3
公共施設などで入手	84	14.1%	0	6	14	12	17	23	12	0
市ホームページで閲覧 (市公式LINE経由を含む)	107	18.0%	0	9	30	28	17	12	9	2
マチイロ (自治体広報の閲覧アプリ)	9	1.5%	1	1	0	1	2	2	2	0
その他	26	4.4%	0	2	8	5	4	2	4	1

【全体】



【年代別】



【その他の主な回答】

職場や実家で見ると、回覧版で回ってきたものを見る など

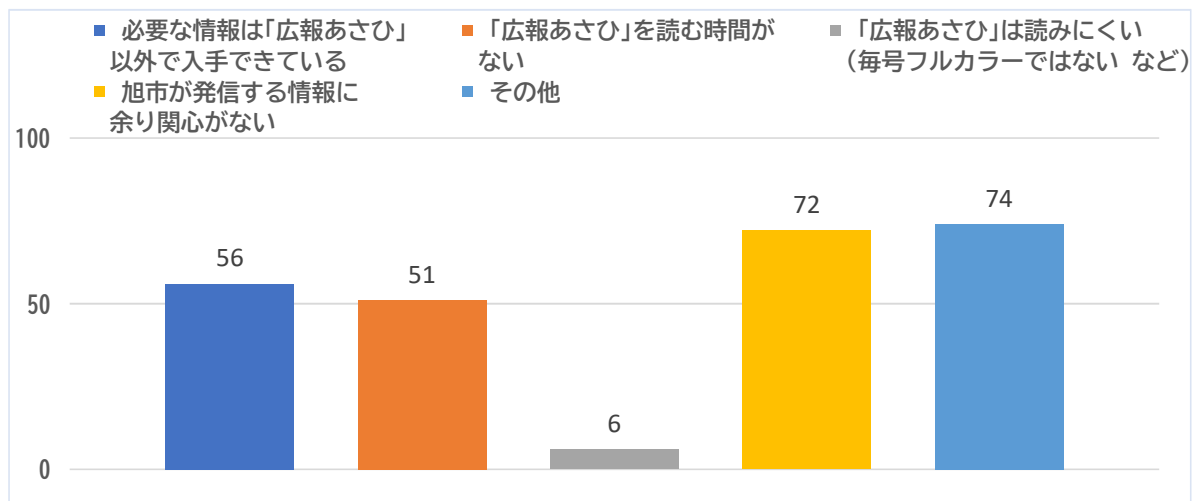
入手方法については「新聞折り込み」が64.4%と最も多く、次いで「市ホームページ」「公共施設などで入手」の順となっている。デジタル媒体については、市ホームページ以外に「マチイロ」という無料のアプリもあるが、利用している人は少なく、余り知られていない現状が伺える。

問8 問5で4、5を選んだ方にお伺いします。

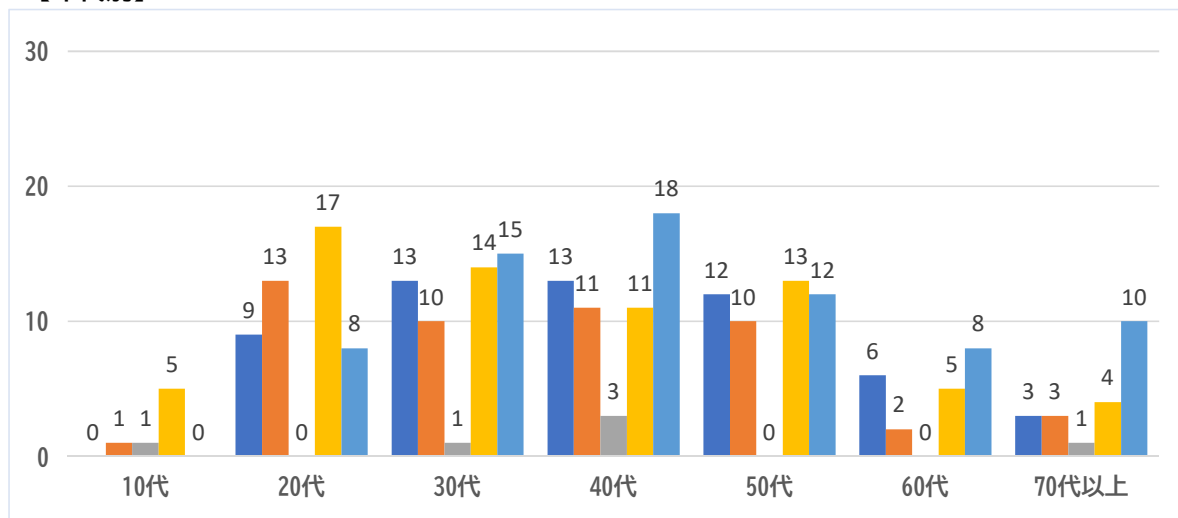
「広報あさひ」を読まない主な理由をお答えください。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
必要な情報は「広報あさひ」以外で入手できている	56	23.0%	0	9	13	13	12	6	3	0
「広報あさひ」を読む時間がない	51	21.0%	1	13	10	11	10	2	3	1
「広報あさひ」は読みにくい (毎号フルカラーではない など)	6	2.5%	1	0	1	3	0	0	1	0
旭市が発信する情報に 余り関心がない	72	29.6%	5	17	14	11	13	5	4	3
その他	74	30.5%	0	8	15	18	12	8	10	3

【全体】



【年代別】



【その他の主な回答】

どこで入手できるのかわからない、デジタル版の存在を知らなかった、新聞を購読していないため、必要な情報は調べるから など

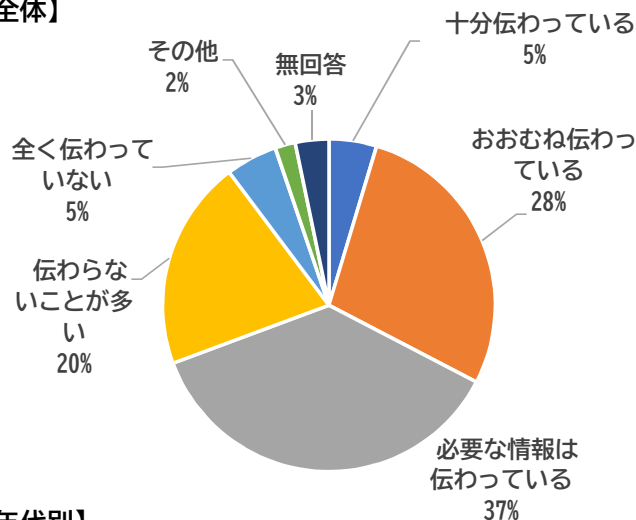
「広報あさひ」を読まない理由としては「旭市の発信する情報に余り関心がない」「必要な情報は「広報あさひ」以外で入手できている」が上位となっている。旭市の情報に対する関心度や、情報取得の多様化が主な理由と考えられる。また「その他」の回答では、広報の入手方法がわからないという回答が多く見られた。

問9 旭市が発信している情報は、どの程度伝わっていますか。(〇は1つ)

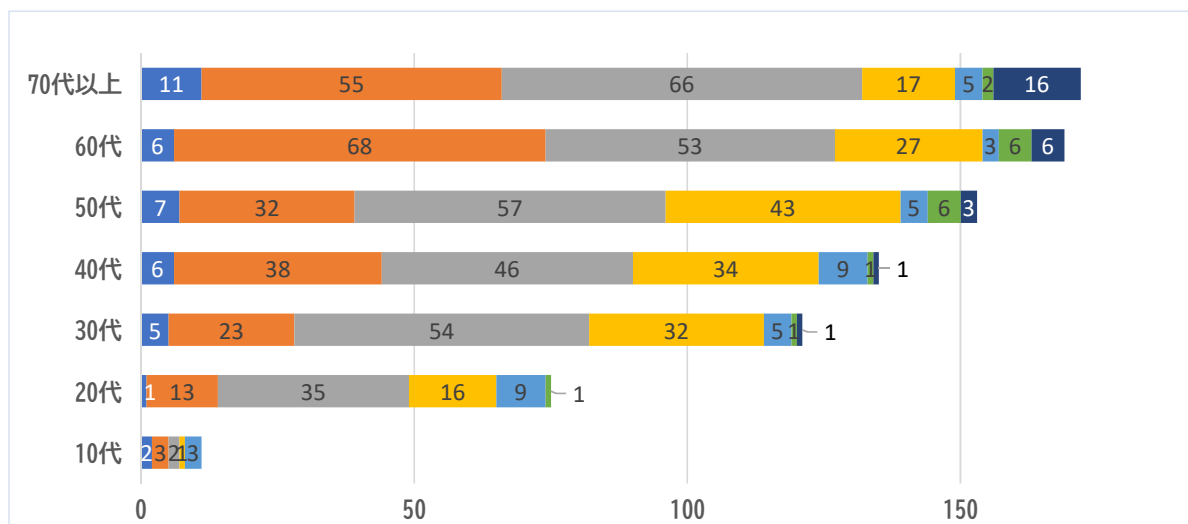
選択肢	回答数	割合
十分伝わっている	40	4.6%
おおむね伝わっている	241	28.0%
必要な情報は伝わっている	316	36.7%
伝わらないことが多い	176	20.4%
全く伝わっていない	43	5.0%
その他	17	2.0%
無回答	28	3.3%
計	861	100.0%

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
2	1	5	6	7	6	11	2
3	13	23	38	32	68	55	9
2	35	54	46	57	53	66	3
1	16	32	34	43	27	17	6
3	9	5	9	5	3	5	4
0	1	1	1	6	6	2	0
0	0	1	1	3	6	16	1

【全体】



【年代別】



【その他の主な回答】

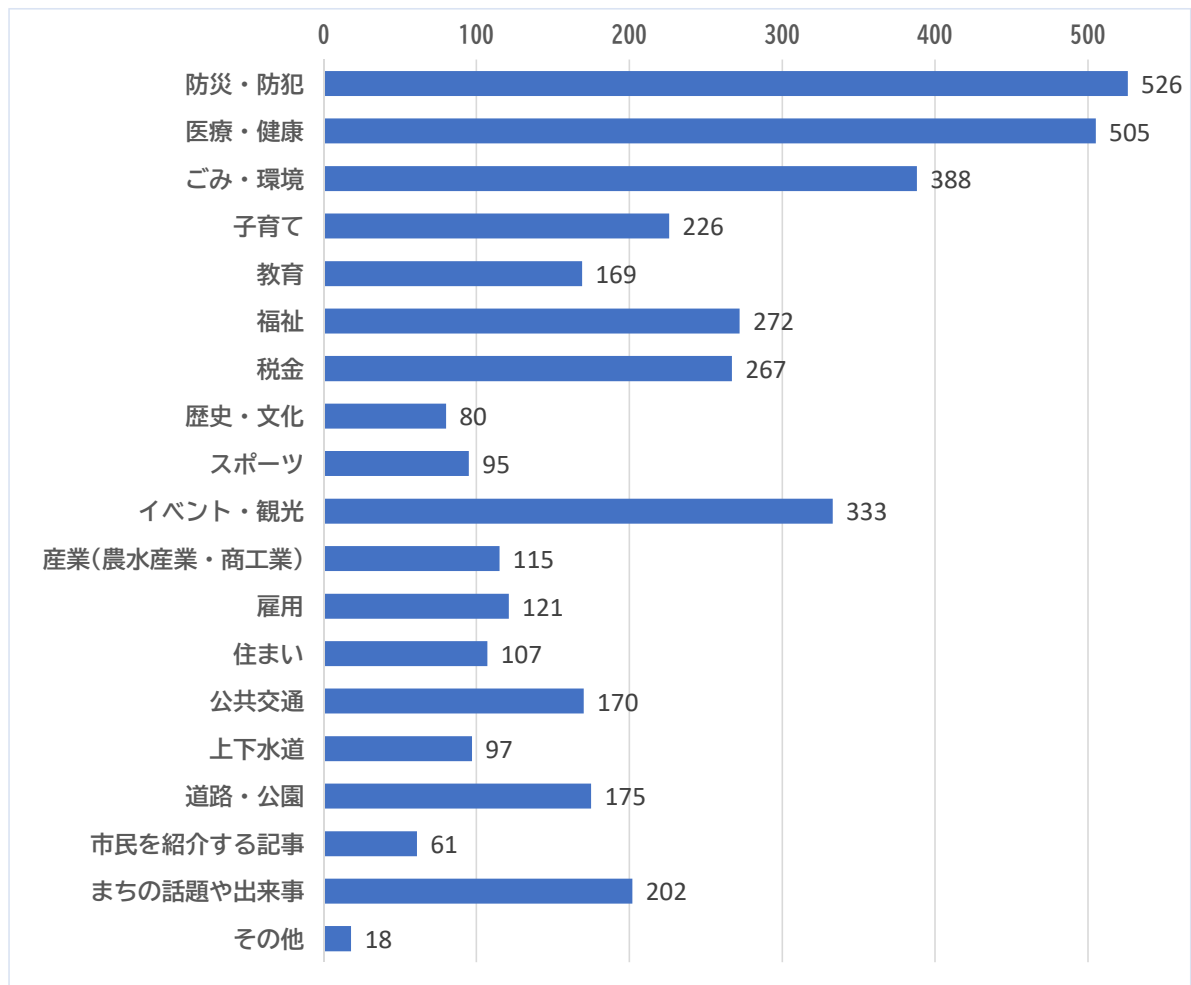
興味がない、わからない など

「十分伝わっている」は4.6%にとどまっているが「おおむね伝わっている」「必要な情報は伝わっている」まで合わせると69.3%に上る。一方で「伝わらないことが多い」「全く伝わっていない」を合わせると25.4%となっている。特に広報の購読率が高い60代代以上では、伝わっていると回答している人の割合が75%を超えている。

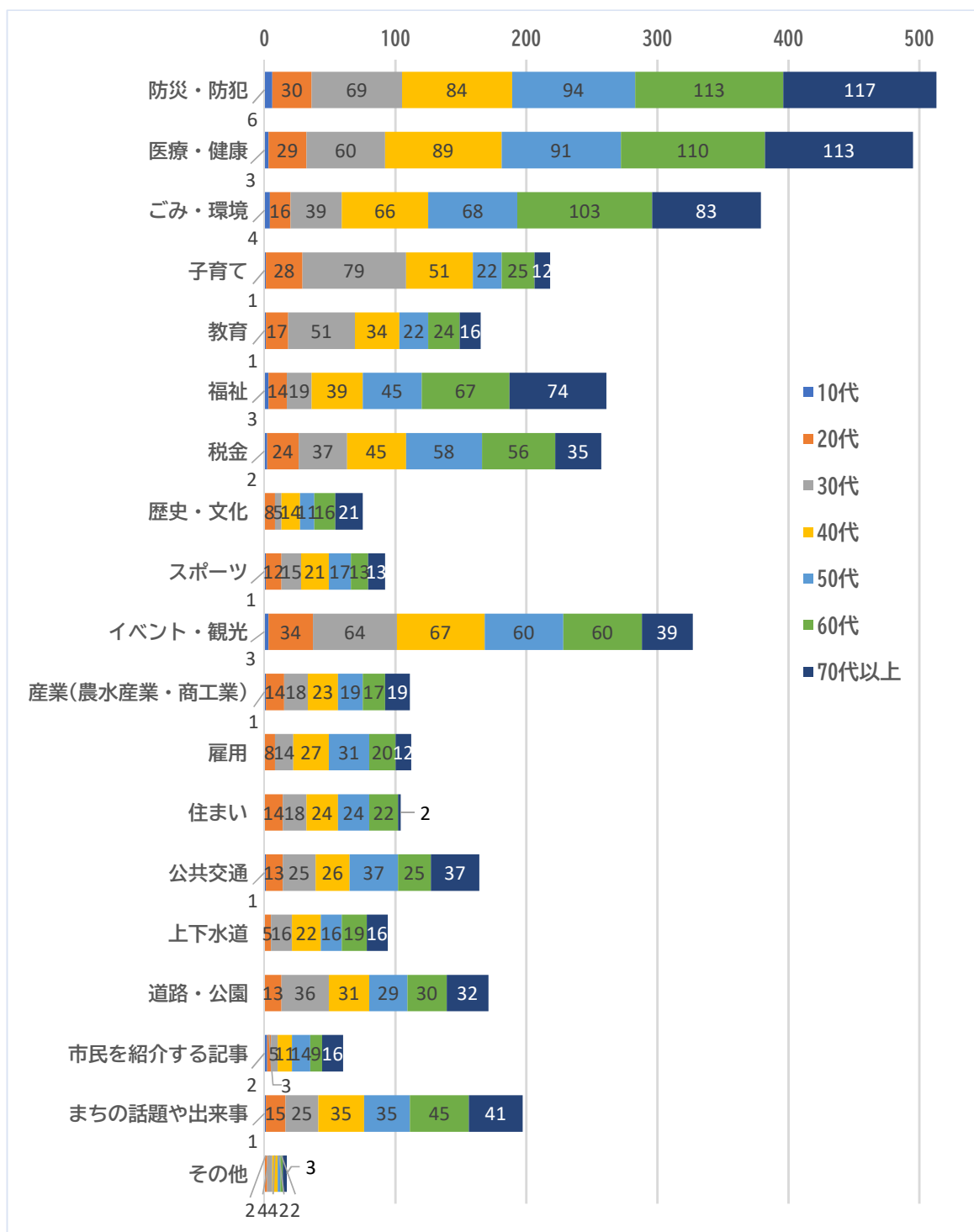
問10 旭市の情報で関心のあるものや、充実させた方が良いと思う情報はどれですか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答など
防災・防犯	526	61.1%	6	30	69	84	94	113	117	13
医療・健康	505	58.7%	3	29	60	89	91	110	113	10
ごみ・環境	388	45.1%	4	16	39	66	68	103	83	9
子育て	226	26.2%	1	28	79	51	22	25	12	8
教育	169	19.6%	1	17	51	34	22	24	16	4
福祉	272	31.6%	3	14	19	39	45	67	74	11
税金	267	31.0%	2	24	37	45	58	56	35	10
歴史・文化	80	9.3%	0	8	5	14	11	16	21	5
スポーツ	95	11.0%	1	12	15	21	17	13	13	3
イベント・観光	333	38.7%	3	34	64	67	60	60	39	6
産業(農水産業・商工業)	115	13.4%	1	14	18	23	19	17	19	4
雇用	121	14.1%	0	8	14	27	31	20	12	9
住まい	107	12.4%	0	14	18	24	24	22	2	3
公共交通	170	19.7%	1	13	25	26	37	25	37	6
上下水道	97	11.3%	0	5	16	22	16	19	16	3
道路・公園	175	20.3%	0	13	36	31	29	30	32	4
市民を紹介する記事	61	7.1%	2	3	5	11	14	9	16	1
まちの話題や出来事	202	23.5%	1	15	25	35	35	45	41	5
その他	18	2.1%	0	2	4	4	2	2	3	1

【全体】



【年代別】



【その他の主な回答】

補助金や助成金、婚活、市の予算、人口動態 など

「防災・防犯」が61.1%と最も多く、次いで「医療・健康」「ごみ・環境」「イベント・観光」の順となった。上位の項目については、幅広い年代で関心が高い項目となっている。そのほかの主な傾向として、30代・40代では「子育て」や「教育」への関心が高く、50代以上では「福祉」への関心が高くなっている。

問11 旭市からの情報発信について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

【主な意見の概要】

●発信の手段・頻度

- ・何か一つだけの媒体では届きづらく、複数の組み合わせで情報発信していく必要がある。
- ・デジタル媒体での即時発信（LINEなどのプッシュ通知）を強化してほしい。
- ・インターネットから情報を得ることが日常的になっているので、広報は月1回に減らしても良いのでは。
- ・高齢者やデジタル機器に不慣れな人々のために、今までどおり紙媒体での情報提供を続けることが必要。

●情報の入手しやすさ、探しやすさ

- ・コンビニ・スーパー・病院・金融機関などに広報紙などがあると手に取りやすい。
- ・回覧板で広報を配布してほしい。
- ・マチイロアプリのQRコードを広報に掲載した方がよい。
- ・デジタル未利用者には紙媒体が不可欠。一人暮らし高齢者などは個別配布や郵送も検討。
- ・情報取得が苦手な人など、弱者の立場に立った情報提供の在り方を模索してほしい。
- ・市のホームページが見づらく、必要な情報にたどり着きにくいので改善してほしい。
- ・広報あさひが、PDF形式のみでスマホ閲覧に不便。WEB版や検索性の高い形式にしてほしい。

●SNSの活用

- ・公式LINE、Instagram、YouTubeなどの存在を知らない人が多いと思う。
- ・SNSでは楽しい内容・興味を引く企画や、写真や動画の魅せ方を工夫してほしい。
- ・SNSでイベント告知をもっとしてほしい。

●内容の充実

- ・市民の声や地域で活躍する人の紹介を増やしてほしい。
- ・健診や子育て支援、補助金、イベント情報について、もっと情報を発信してほしい。
- ・子どものスポーツや文化大会の成績など、市民の活動もっと載せてほしい。
- ・あさピーやあさピーアール部をもっと積極的に活用してほしい。